

生活者通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.415
2026.4.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可



生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

地域ネット

中野ネット

包括的性教育とは～なぜ必要なのか～
4月25日(土) 13:00～15:00 野方区民活動センター2階ギャラリー(野方駅) 講師:池田賢市さん(中央大学教授) 300円 03-5942-6703

世田谷ネット

これからの日本はどうなるのか?!
5月3日(日) 13:30～15:30 成城ホール4階集会室D(成城学園前駅) 講師:金子勝さん(慶應義塾大学名誉教授) 500円 03-3420-0737

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議38人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。**東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。**



東京・生活者ネット子ども部会の「インクルーシブ教育」視察報告会。東洋大学客員研究員の木玲子さんが基調講演を行った。1月13日

子どもと教員・保護者が一緒に学んで学び合う実践から
50年以上にわたりインクルーシブ教育を実践してきた大阪府豊中市の南桜塚小学校には、現場の教員たちが子どもや保護者と一緒になって積み重ねてきた「学び合い」の教育スタイルがあっ

た。子どもも大人も地域の人も「一緒にいるのが当たり前」と迷いなく受け止めている姿に出会い、これがインクルーシブということなのだと思わされた。

視察では、他にもたたくさんの学校で、様々な取り組みを始めていくことを知った。

すなわち、▼「自分探究」と社会的バリアを知る「取り組み▼子ども同士で「学び合う」取り組み▼「苦手」を回避できる道具やしくみを考え、「好き」を伸ばす取り組み▼安心できる「避難スペース」を用意する取り組み▼支援担当の教員が担任や学級全体を支援する「入り込み」という取り組み▼臨床心理士や言語聴覚士、作業療法士などの「専門職」を学校教育に上手く活用し、子どもも教員も負担を減らし個性を活かした個別最適をめざす取り組み――等々実践例は多岐にわたる。

文部科学省は「個別最適で協働的な学び」を指導要領で重視している。視察を機に生活者ネットワークは、自分の個性を最適に活かした生き方を自らの頭で考え、他の人も自分と同じように大切にできる、民主的で持続可能な社会の主人公になるために、人権に根ざしたインクルーシブ教育を推し進めていきます。

稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子



稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子

稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子

稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子

稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子

稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子

稲城・生活者ネットワーク市議会議員 村上洋子

第51回衆議院議員総選挙における模擬選挙の実践から

年明け早々、衆議院が急な解散となり、第51回衆議院議員総選挙が行われました。その結果は周知のとおりですが、投票した18歳以上の有権者だけではなく、18歳未満の子どもも選挙結果の影響をうけます。模擬選挙推進ネットワークは、2003年の総選挙以降、未来の有権者(2015年までは20歳未満、公選法改正で投票年齢が引き下がった2016年以降は18歳未満)を対象に、国政選挙にあわせて「未成年“模擬”選挙」の実施を呼び掛けてきました。そして今回も、入試シーズンや年度末等の制約はあったものの、模擬選挙を実施しました。そして、中学校9校、高校9校の計18校で模擬選挙が行われ、2371人の未来の有権者が一票を投じました。

模擬選挙の結果は、次のグラフの通りです。

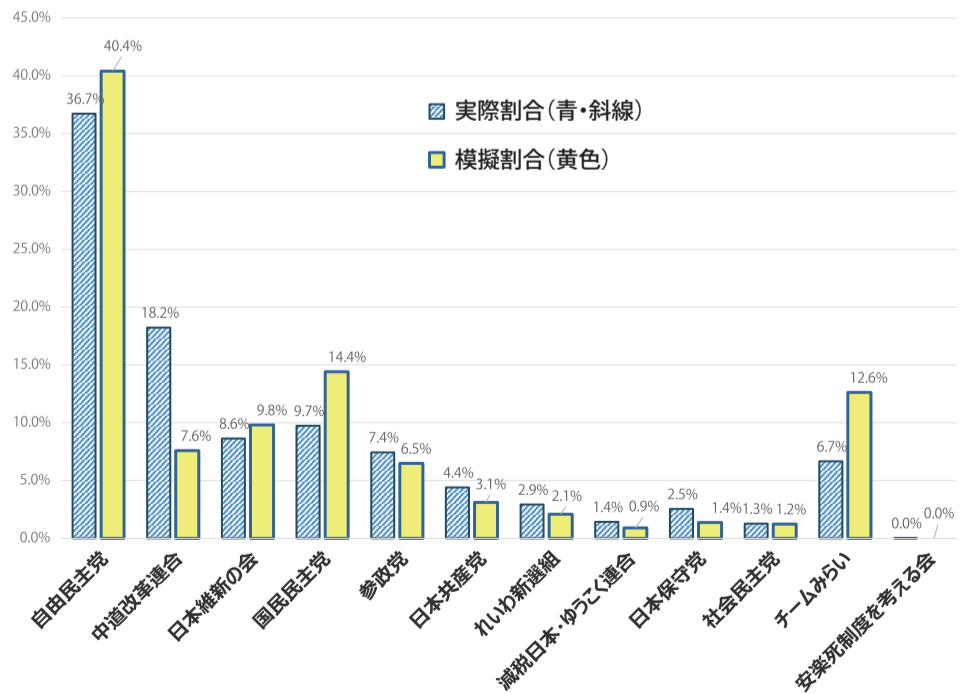
実際の選挙結果以上に、模擬選挙では自民党や国民民主党、チームみらいに票が集まりました。模擬選挙で自民党に投票した意見を見ると、意外にも高市首相のキャラクターで選んだというよりも政策(ポトマッチを使うなど)で選んだという意見が多かったです。そして、中道が今回大惨敗した理由としては、その知名度不足以上に、外交やエネルギー政策、財政問題などが今回の選挙の前に隠れてしまったからだと言えます。

また、左右という立ち位置からみた場合、今回の模擬選挙の傾向としては、左右の極端な政策を嫌い、穏健保守と

いった傾向が強く、左右という対立構造から一歩引いたスタンスであったチームみらいがかなり票数を集めているということを見ると、与野党全体に「対決より解決」を求めているといえると思われます。

物価高対策や経済という点もさることながら、外交やエネルギー政策、また大きな影に隠れてしまった夫婦別姓など多岐にわたる政策など、自分の関心分野で比較できるポトマッチの利用はますます増えていこうと思われま

2026総選挙 比較(実際/模擬)



林 大介 模擬選挙推進ネットワーク/東洋大学准教授

Information

女性と政治と未来ゼミ WOMEN, POLITICS, AND THE FUTURE SEMINAR 2026 (5月~7月) 参加者募集

プログラム(全6回) 各回とも10時~12時
第1回 5月16日(土) 生き方を変えよう! 暮らしと政治を身近にした50年
第2回 5月30日(土) みんなで社会を変える—政治は生活の道具
第3回 6月13日(土) 自治体の法律一条例 市議会・区議会・都議会
第4回 6月27日(土) あなたの解決したいこと? それって政治
第5回 7月11日(土) 地域に必要なものをつくらう—市民活動から議会または行政を動かす
第6回 7月25日(土) 政治を変えよう
☆6回の講座のほかに、希望者は6月議会傍聴へご案内します。
会場:生活クラブ クラブ館(経堂駅) / 第3回のみ都庁都議会棟(都庁前駅)
対象:18歳~50歳代(保育が必要な方はお申し出ください) 定員:20名
申し込み期限:5月1日 参加費:全6回5000円(学生割引2500円) / 1回1000円
主催:東京・生活者ネットワーク
お問合せ:TEL03-3200-9189 tokyo@seikatsusha.net



プラスチックごみ削減の質問では、都の「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」にあるグラフをパネル掲示した。2026年3月13日

都議会第1回定例会では新年度にむけた予算審議が行われます。9.6兆円の一般会計をはじめ、全特別会計含めると合計約18兆円というスイスの国家予算にも匹敵する大きな予算。岩永やす代は予算特別委員会に登壇し、ゼロエミッション実現にむけたプラスチック削減の確保策、子どもの権利に基づく施策、誰もがともに学べる学校づくり、包括的教育、ケアラー支援などをテーマに質疑しました。

東京都が掲げる「ゼロエミッション東京戦略」では、再エネ拡大と並んでプラスチックごみ削減が重要な柱となっています。日本のプラスチックの約8割は使い捨ての容器包装で、一人あたり年間約30kgと世界でも突出しています。東京都は廃プラスチック焼却量を2030年までに「2017年比40%削減」、さらに2035年に50%削減する独自目標を掲げていますが、焼却量は依然として約70万トンと横ばいのまま。目標達成には抜本的な対策が必須です。

そこで自治体の分別回収強化支援と、リサイクルを進めるために、材質ごとにプラスチックごみを高精度で選別できる光学選別機の導入支援強化を求めました。同時に、9都府県と連携した発生抑制の強化とともに、都独自の使い捨てプラスチック削減の推進を求めました。

子どもや若者が、自分と他者を大切にしながら生きていくためには、からだのしくみや性の多様性、リプロダクティブ・ヘルス/ライスを総合的に学ぶ包括的教育が欠かせません。国際的にはすでに標準となっている学びを、東京でも確実に保障していく必要がある、来年度の取り組みについて質問しました。

来年度から始まる「ユースクリニク」は、医師や看護師等による個別相談に加え、緊急避妊や妊娠判定に関する診療も支援対象となり、中高生や若者が性に関する悩みや健康課題を気軽に相談できる場として、期待されます。また、性暴力被害者支援では、新たに男性向け相談窓口が開設されますが、女性被害者が圧倒的に多い現状を踏まえ、性暴力被害者ワンストップ支援センターによる支援の拡充と、困難女性支援の関係機関との連携も求めました。

都教委は「性教育の手引き」を活用し、産婦人科医による授業を支援していますが、実施校は40校にとどまっています。デートDV防止や性の多様性を扱う人権教育とあわせ、より多くの学校で体系的に学べるよう求めました。国では不同意性交渉を教えずにするための学習指導要領改訂が進んでおり、性交について直接触れられない「歯止め規定」の見直しも含め、時代に合った改定となることを望みます。

都議会第1回定例会では新年度にむけた予算審議が行われます。9.6兆円の一般会計をはじめ、全特別会計含めると合計約18兆円というスイスの国家予算にも匹敵する大きな予算。岩永やす代は予算特別委員会に登壇し、ゼロエミッション実現にむけたプラスチック削減の確保策、子どもの権利に基づく施策、誰もがともに学べる学校づくり、包括的教育、ケアラー支援などをテーマに質疑しました。



インクルーシブ教育の質問で小池知事は、「誰もが互いを尊重し、自分らしく活躍できる共生社会をつくり上げるため、子どもたちの個性を強みとして発揮でき、相手のことを理解できる教育は重要」と答弁した

ユースヘルスケアと包括的教育の充実を

6月杉並区議補欠選にむけて

杉並・生活者ネットワークは、6月28日投票の杉並区議会議員補欠選挙にむけて、新人・向井よしかの擁立を決定しました。

杉並区議補欠選
6月21日告示・
28日投票

向井よしか

むかい 温 夏

1972年札幌市生まれ 都立石神井高校卒 95年成蹊大学卒 ベースボール・マガジン社に勤務、記者として子どものスポーツ現場からオリンピック、パラリンピックまで取材、執筆
2007年~編集ユニットを立ち上げ、おもに柔道や競泳、女性スポーツにまつわる記事を各メディアに寄稿 15年~生活クラブ生協で食と農業、まちづくりの活動 19年~柔道を通じた国際交流・社会貢献を行うNPO法人スタッフ
23~24年杉並区子どもの権利擁護に関する審議委員会区民委員(公募) 全国手話検定3級

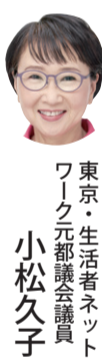


「性」の本質を教えない不作為が子どもを不幸にしている。このような問題意識から、CL支援センター理事会は「人権」をベースに「性」を科学的かつ広範にとらえた「包括的教育」の推進を呼びかけるキャンペーンを立ち上げ、2月11日キックオフイベントを開催した。

この日は、全国の賛同者代表として教育評論家の尾木直樹さんが、ご自身も同じ目的で活動を始めたことを語り「ともにがんばりましょう」とエール。パネルディスカッションでは、都立七生養護学校事件の原告側弁護士として関わった木村真実さんが、元養護教諭として包括的教育を長く実践し現在は若者支援活動に携わる金子由美子さん、私・小松久子(CL支援センター理事)もキャンペーン実行委員長として登壇しクロストーク。

私が特に伝えたかったのは、「性」に対する無知や誤解による悩み、傷つく子どもたちの存在だ。「性」の本質を教えないという不作為が子どもを不幸にしている状態をこれ以上放っておけない。「性」を体系的かつトータルに学ぶ「包括的教育」が義務教育に位置づけることが重要であり、そのためには法律に定める必要がある。国会議員に協力を要請し動き出そうとした矢先の、先の衆院選で計画が流れてしまったことが残念でならない。が、まずはボトムアップで社会変革をめざすべく、草の根の活動を広げていきたい。

チャイルドラインと進めよう! 包括的性教育推進キャンペーンの根活動拡大に向けキックオフ



東京・生活者ネットワーク元都議会議員
小松久子



チャイルドラインの包括的性教育推進キャンペーン・キックオフイベント。パネルディスカッションで発言する、小松久子。2月11日、渋谷区内で

都政 NOW 区市とつなぐ

編集後記 東京電力福島第一原発事故発生から15年の3月11日、3つの集会をハシゴ。経産省前テントひろばの集会では「だれも大事故の責任をとらず、だれも安全と言わない原発推進をやめろ」、日本原電前のヒューマンチェーンでは「東海第二原発を廃炉に」、東電本店前では「柏崎刈羽原発の稼働を停止しろ」と訴え、「原子力緊急事態宣言発令中」とコールした。今も、4万8千人が避難生活を強いられている。福島原発の電気を使っていたのは、柏崎刈羽原発の電気を使うのは、地元ではなく、首都圏・東京のわたしたちだ。自分ごととして、引き続き声をあげていく。(上坂)